

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業

3月2日から5月7日まで続いていた臨時休業がさらに5月31日(日)まで延長されました。生徒がいない学校を少し紹介したいと思います。まず、グラウンドですが、一面平らでまるで砂浜のような状態です。早く歓声がかきまする日々が戻ってくることを願うばかりです。

次に本校の電光掲示板でゴールデンウィーク明けから東西を行き交う自動車や地域の方々に様々なメッセージを発信しています。今後、一人一人が感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るための新しい生活様式(スマートライフ)の実現に向け、一致団結して頑張っていきたいと思っています。

また、校内を歩いていると木の焦げる臭いやマシンを動かす音、オンライン授業の研究等、先生方の学校再開に向けた鼓動を感じました。早く学校が無事再開されますように！



*3Dフェイスシールドの製作

新型コロナウイルス感染者の治療にあたる医療関係者の防護具が世界的に不足する中、大阪大学でクリアファイルと3Dプリンターを活用して顔を保護する簡易フェイスシールドが開発されました。そのデータや使用方法が同大学ホームページでも無料公開されていることから、本校でも本県医療従事者や特別支援学校、本校職員用に4月から3Dプリンターが配備された機械科、創造技術科、産業デザイン科でそれぞれ製作を開始しました。3Dプリンターで樹脂フレームを作り、クリアファイルと組み合わせて製作します。頭に装着することで顔全体を覆うことができ、飛沫感染のリスクの軽減が見込まれます。クリアファイルは使い捨てで、フレームは消毒すれば繰り返し使うことができます。これまで製作したフェイスシールドは関係機関に順次配布させてもらっており、今後にも必要に応じて製作を進めていきたいと考えています。

その他、各職員が工夫を凝らして作ったマスクや職員用にボランティアでいくつかの布マスクを作ってくれた先生もあり、とても感謝しています。ありがとうございました。



*和歌山工業高校あるある②

和歌山工業高校には、屋上庭園が2箇所あります。本館6階多目的ホールの西側と東側にそれぞれ設置されています。安全面から自由に足を踏み入れることはできませんが、必要に応じて開放されています。季節ごとに四季折々の表情があり、今は、木々たちも夏に向けて力強く成長しています。また東側は、洒落た庭園になっており、校務員さんが日々清掃しながら管理してくれています。ちょっとした憩いのスポットとしていかがでしょうか。



*和歌山県立図書館にコロナウイルス飛沫感染防止パーテーションを寄贈

コロナウイルスの対面飛沫感染を防止するため、和歌山県立図書館からパーテーションの製作依頼がありました。パーテーションは、アルミフレーム角型(3cm×3cm)にアクリル板(厚さ3mm)を固定した幅90cm、高さ120cm(アクリル板の高さ90cm)のもので、機械科と創造技術科が連携で作製しました。1階総合カウンターに設置されている2台を含め、計8台を寄贈しました。写真でもわかるようにアクリル板は透明なため、図書館でも注意書きが施されていました。各教室にも設置されたら良いかも知れませんね。



*こんなに大量の消火器が本校に設置されています

13日(水) 耐用年数を迎えた消火器の一斉交換が行われました。校内の施設管理を担当してもらっている事務室の松井さんの指示で、速やかに交換が終了しました。終了後、古い消火器が玄関に並べられていましたが、なかなかの数で驚きました。いったい全部で何本あるのでしょうか？(ヒントは、昭和最後の年です)



2020

和歌山県立和歌山工業高等学校(全日制)

〒641-0036 和歌山市西浜3丁目6番1号

Tel: 073-444-0158 / Fax: 073-444-2510

HP: <https://www.wakayama-th.wakayama-c.ed.jp/>